

平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成31年2月5日

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2112 URL http://www.ensuiko.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 裕司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ長 (氏名) 小田 俊一 (TEL) 03-3249-2381  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績 (平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	20,256	△1.2	1,019	52.9	1,096	△3.9	749	△17.5
30年3月期第3四半期	20,501	△3.0	666	△7.3	1,141	37.7	907	53.3

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 527百万円(△45.2%) 30年3月期第3四半期 961百万円(△7.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	27.63	—
30年3月期第3四半期	33.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	24,377	8,698	35.7
30年3月期	24,948	8,306	33.3

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 8,698百万円 30年3月期 8,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△3.3	760	△9.6	920	△22.8	670	△26.1	24.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	35,000,000株	30年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	7,890,649株	30年3月期	7,890,645株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	27,109,352株	30年3月期3Q	27,109,394株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境が改善するなど、全体として緩やかな回復基調が継続いたしました。今後は、政府の各種経済政策の効果による底堅い推移が見込まれる一方、海外の政治情勢や通商問題の動向が世界経済に与える影響など、景気の先行きには不透明感が存在しております。

このような状況の中、当社グループはお客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」を目標に、砂糖事業及びバイオ事業の計画達成に向けて全力で取り組んでまいりました結果、経営成績は以下のとおりとなりました。

#### ①砂糖事業

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において12.33セントで始まり、主要生産国ブラジルの乾燥気候長期化による産糖量の停滞観測等により6月初旬に13セント近くまで上昇しましたが、ブラジル通貨レアルの下落の影響やインド政府による余剰在庫輸出奨励策の承認により、9月下旬に9.83セントの安値まで下落しました。その後、ブラジル通貨レアルの上昇及びブラジルの砂糖生産量低下の報道を受け、10月下旬に14.24セントの高値を付けました。11月以降は、原油先物相場の下落を受けて下げ基調となり、12.03セントで当期を終了しました。このような相場動向のもとで、当社では適切な原料糖の調達に努めてまいりました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり）は、期初189円～190円で始まりましたが、粗糖先物相場の下落を受けて7月中旬に187円～188円に値を下げ、同水準のまま当期を終了しました。

精糖及びその他糖類などの国内販売は、業務用製品は大手ユーザーを始めとして順調に推移しましたが、家庭用製品は、主要量販店を中心とした販売促進活動を展開したものの販売数量は伸び悩み、売上高は前年を下回りました。

以上の結果、当期における砂糖事業全体の売上高は18,811百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益は1,606百万円（前年同期比26.9%増）となりました。

#### ②バイオ事業

オリゴ糖部門は、腸内環境改善効果を有する特定保健用食品「オリゴのおかげ」シリーズの認知度向上を通じた拡販に向けて、テレビCMの放映や雑誌との連動企画、当社公式ウェブサイトの内容充実化など一般消費者への訴求活動の強化に努めると共に、特売や試食販売の広域展開など主力量販店を中心とした販売促進活動を積極的に展開いたしました。その結果、オリゴ糖部門全体では販売数量及び売上高とも前年同期を上回りました。

サイクロデキストリン部門は、食品及び非食品において新規の用途及び素材の開発と営業力の強化を通じた拡販に努めましたが、売上高は前年を下回りました。

以上の結果、当期におけるバイオ事業全体の売上高は1,401百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益は228百万円（前年同期比12.0%増）となりました。

#### ③その他

その他の事業につきましては、ニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用にも努めました結果、売上高は100百万円（前年同期比2.5%増）、セグメント利益は48百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

以上の結果、当期の売上高は20,256百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は1,019百万円（前年同期比52.9%増）、経常利益は1,096百万円（前年同期比3.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は749百万円（前年同期比17.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

①資産

流動資産合計は前連結会計年度に比べて112百万円減少し、6,820百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が196百万円増加した一方で、現金及び預金が294百万円減少、商品及び製品が99百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は前連結会計年度に比べて458百万円減少し、17,557百万円となりました。これは主に、投資有価証券が331百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて571百万円減少し、24,377百万円となりました。

②負債

負債合計は前連結会計年度末に比べて963百万円減少し、15,679百万円となりました。これは主に、短期借入金が100百万円増加した一方で、長期借入金が1,035百万円減少したことによるものであります。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて391百万円増加し、8,698百万円となりました。これは主に、利益剰余金613百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が226百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成30年5月11日公表の業績予想からの変更はありません。今後、何らかの変化が生じた場合、適時適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,784	1,490
受取手形及び売掛金	2,035	2,231
商品及び製品	1,084	984
仕掛品	271	233
原材料及び貯蔵品	713	760
その他	1,043	1,119
流動資産合計	6,932	6,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,975	10,024
減価償却累計額	△6,393	△6,592
建物及び構築物(純額)	3,582	3,431
機械装置及び運搬具	11,283	11,449
減価償却累計額	△9,480	△9,657
機械装置及び運搬具(純額)	1,803	1,792
工具、器具及び備品	460	472
減価償却累計額	△387	△401
工具、器具及び備品(純額)	72	70
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	23	30
有形固定資産合計	10,715	10,559
無形固定資産		
ソフトウェア	124	105
その他	6	6
無形固定資産合計	130	111
投資その他の資産		
投資有価証券	5,107	4,776
長期貸付金	1,224	1,199
繰延税金資産	753	833
その他	84	76
投資その他の資産合計	7,170	6,886
固定資産合計	18,016	17,557
資産合計	24,948	24,377

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	689	712
短期借入金	5,000	5,100
1年内返済予定の長期借入金	1,588	1,483
未払法人税等	177	192
未払消費税等	176	268
賞与引当金	78	39
その他	1,061	1,114
流動負債合計	8,772	8,911
固定負債		
長期借入金	6,820	5,785
退職給付に係る負債	716	648
繰延税金負債	8	19
その他	324	315
固定負債合計	7,869	6,768
負債合計	16,642	15,679
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	9,687	10,300
自己株式	△3,021	△3,021
株主資本合計	8,657	9,270
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△361	△588
繰延ヘッジ損益	△4	△1
退職給付に係る調整累計額	15	16
その他の包括利益累計額合計	△350	△572
純資産合計	8,306	8,698
負債純資産合計	24,948	24,377

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	20,501	20,256
売上原価	16,807	16,213
売上総利益	3,694	4,043
販売費及び一般管理費	3,027	3,024
営業利益	666	1,019
営業外収益		
受取利息	20	20
受取配当金	112	111
持分法による投資利益	418	16
その他	11	7
営業外収益合計	563	155
営業外費用		
支払利息	74	70
支払手数料	5	3
その他	8	3
営業外費用合計	88	78
経常利益	1,141	1,096
特別利益		
投資有価証券売却益	5	—
特別利益合計	5	—
特別損失		
投資有価証券売却損	3	—
特別損失合計	3	—
税金等調整前四半期純利益	1,142	1,096
法人税、住民税及び事業税	212	318
法人税等調整額	22	29
法人税等合計	235	347
四半期純利益	907	749
親会社株主に帰属する四半期純利益	907	749

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	907	749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39	△227
繰延ヘッジ損益	5	2
退職給付に係る調整額	6	0
持分法適用会社に対する持分相当額	2	1
その他の包括利益合計	54	△221
四半期包括利益	961	527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	961	527

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,024	1,393	83	20,501	—	20,501
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	23	14	52	△52	—
計	19,039	1,416	97	20,554	△52	20,501
セグメント利益	1,265	203	48	1,517	△851	666

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,794	1,376	85	20,256	—	20,256
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	24	15	55	△55	—
計	18,811	1,401	100	20,312	△55	20,256
セグメント利益	1,606	228	48	1,882	△863	1,019

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。